

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2021年10月25日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	大津市	代表者名	佐藤 健司
担当者部署	政策調整部	連絡先電話番号	077-528-2727
担当者役職	主任	担当者氏名	大庭 博司
住所	520-8575 滋賀県大津市御陵町3-1		

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	太田垣 恭子	下山 紗代子
評価	大変よい	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	オープンデータの基本的な内容にはじまり、なぜ必要なのかということやEBPMやCivictch等の観点からの活用まで、ステップを踏んで丁寧にご説明いただいたことで、オープンデータの意義や必要性について出席者の多くに理解していただくことができた。また、出席者からの質問に対して適宜回答していただくとともに、相談会で出てきた具体的な課題に対してご助言いただき、出席者の疑問や課題を解決しながら進めていただいた。今後、出席者にオープンデータの公開を進めていただく上で、非常に有意義な機会となった。	
アドバイザーへの要望事項	今後オープンデータの公開を進めていく上で具体的な課題が出てきた際にご助言いただきたい。	

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月20日	13時30分	16時30分		180
3-2. 派遣場所	会場名	大津市役所	最寄駅		
	所在地	滋賀県大津市御陵町3-1	最寄駅からの交通手段	徒歩	
	派遣形態	支援・助言(実地)			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	26人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	特定の所属についてはオープンデータの意識が向上してきているものの、未だ全庁的に浸透しているというわけではない。また、より活用されやすいデータを公開するためには、庁内におけるデータ活用を推進し、データを使う側の立場を理解した上で庁内のデータ整備を進められるよう意識付けを進める必要がある。データを保有する原課職員に、通常業務がある中で、どのようにオープンデータの意義や重要性を伝え、保有データの整備とオープンデータ化に対応していただくか、というところに課題を感じている。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	出席者に、オープンデータの意義や必要性を理解していただき、今後の本市ポータルサイトへの公開を進めてもらうためのきっかけとしていただく。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	太田垣様には、オープンデータの意義、「オープン・バイ・デフォルト」や「共創」の考え方、クリエイティブコモンズライセンスなどのオープンデータ全般について教えていただくとともに、オープンデータを進めることが行政内の効率化に繋がっていくという職員の働き方についても触れていただいた。下山様には、EBPMの意義、プロセス、効果検証のための指標等について教えていただくとともに、具体的に庁内外で利用されやすいデータの整備方法や考え方についても触れていただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	オープンデータの意義や必要性を理解したうえで、実際にデータをどのように整備していけばよいかの方法や考え方を知ることができた。また、「必要とされているデータをどのように見極めていけばよいか」という質問に対して、ワークショップ等の市民との対話の場を持つこと、データリストを提示すること、そもそも多くのデータをオープンとすることで、利用者がこのようなデータも欲しいと気付くきっかけになることを教えていただいた。さらに、「統計情報をどのように加工して手間を少なくオープンデータにすればよいか」という具体的な課題に対して、定型的なフォーマットの統計情報から、あらかじめプログラムにより、自動的にオープンデータのフォーマットに落とし込めるようにしておく等の解決策を提示していただいた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	時間内に回答できなかった質問等については、後日回答をまとめていただくこととなった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 「理解度」「業務への有効性」「時間の長さ」についてアンケートを実施し、約80%が「理解できた」、約73%が「業務の役に立つ」、約85%が「時間の長さが適当」と回答した。実際に、意義や必要性を理解できたという文章での記載も多くあったことから、今後繋がる有意義な研修となった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	データを保有する原課職員が、オープンデータ及びEBPMの意義や必要性について理解し、本市ポータルサイトへの掲載をすることができている。	

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

